

起因物、事故の型：その他の装置、設備 - 墜落・転落の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	18~19	プラント更新工事中に、作業終了後に1階フロアに下りようと昇降梯子まで行ったが、下りずに破碎機点検口前から横の架台に飛び移って下りようとしたが、架台（約2.7m）から落下した。	45	150102	10~29
1	16~17	棚卸し作業中、在庫数の確認のため、高所にある在庫数の確認作業をしていた際、高さ45cmのイスにのって作業をしていた時、バランスを崩して転倒し、その際に左足側面を強打し骨折した。	33	80209	10~29
1	13~14	ボウリングの機械のメンテナンスをしていて、高い所から落下して腕をゲカした。	58	140309	10~29
1	13~14	自社作業場で、白砂の石を除去する作業の準備をしていた。作業場の雨よけのスレートを除けようとした際、足を踏み外して、そのまま1.5m下へ落下した。普段は1人でする作業のため、カバーとしているスレートを引っ張るだけなので、すき間を意識することはない。今回はたまたま2人で作業したため、すき間の存在を忘れて移動してしまい、足を滑らせた。	64	70101	1~9
2	14~15	入荷したカセットボンベケース（1ケース約12kg）をバックヤードの棚に納める為、棚の上に上り、他の従業員が下から商品の入った箱を手渡しし受け取った時にバランスを崩して商品をかばいながら地面に落下し、左足の踵を強打した。	55	80209	100~299
2	18~19	ケアハウス厨房内で、ガス台に上がりダクトのフィルターを取り付けていたところ、床に転落し、被害者左側前頭部を打ちつけた。無意識のうちに両手で頭部をカバーしたため、診断名は左右両手首の骨折である。	57	130201	50~99

2	11~12	食品作業場にて棚の上の物を取ろうとイスを台にして乗った時に椅子の脚が折れ床に転倒してしまった。左足のかかとを骨折した。	60	80201	100 ~ 299
2	7~8	出張先でホテル（カプセルホテルの2段目のベッド=床から1.5m程）に宿泊し、翌朝起床した際にベッドが1段目にあると勘違いし、手すり等につかまらずに頭と足の両方を出す形で入口から出たところ、そのまま1.5m下の床に頭の方から落下した。診断の結果、頭部打撲、右鎖骨骨折、肋骨（6本）骨折であった。	54	170202	1000 ~ 9999
2	14~15	10t車のコンテナの上に乗って、シートを掛ける作業をしていた時に誤って転落し、左手の手首のところを骨折した。	57	150102	1~9
2	13~14	被災者は型保全工場内の設備移設に伴うエア配管の一部を移設する作業を1人で実施していた。高さ3mのエア3次配管（L型）を取り外す為に1.5mの作業用踏台上で作業を実施し、配管が外れた際に、2次配管内に残ったエア残圧が突然顔に吹きかかり、驚いて身体を左側に捻った状態で落下し左足踵から床に転落した。その際に左手に持っていた3次配管のエルボ部分が顔にぶつかり前歯が欠損した。	64	11502	1000 ~ 9999
2	15~16	床から50cm位の高さの作業台の上に立ってプラスチック容器の選別作業をしていた時、台の上に散らばった物を拾う為に屈んだ際、バランスをくずし台から落下した。その際、顔面と右腕を強打し、顔面裂傷と右腕骨折となった。	73	150103	10~ 29
3	22~23	当事業所において、天井扇を清掃するため、テーブル（高さ75cm）の上立ち、雑巾を使って清掃をし始めた際、誤ってバランスを崩し、床へ転落し負傷した。	36	140201	1~9
3	9~10	事務所内にて、壁掛け時計の電池を取り替えるため丸イスの上に上がって、時計に手を伸ばしたときにバランスを崩し、後ろ向きで背中から落ちた。	50	40301	30~ 49
		終業前に高さ2.6mにあるフープコーターのステージにのり、清掃などの片付け作業をしたあと、はしごを使い下りる途中で手を滑らせ落下し			100

3	17~18	た。目撃者がいないため推測となるが、設備から1.4mの事務机に背中を打ちつけ肋骨が3本折れ、そばの設備に手をぶつけて負傷したと思われる。	59	11409	~ 299
3	15~16	勤務先倉庫で月末の棚卸しをしている時に、上にある粉体を数えようと棚に登ろうとしたところ、足を踏み外し、足首を捻った状態になり、そのまま落下して負傷した。	40	10808	10~ 29
3	11~12	給食共同調理場で、ガス釜上部のダクトを掃除しようとガス釜のふちに足を乗せ、ダクトカバーを外していたところ、バランスを崩して背中から転落し、左腕を骨折した。	59	10109	30~ 49
4	17~ 18	アルカリ脱脂槽（深さ90cm）の中にある配管が詰まったため、トイレ用のラバーカップ（長さ57cm）を使用して詰まりを取り除く作業中、アルカリ脱脂槽のキャリア上部のカバーに立って（縦1m19cm、幅25.5cm）両手でラバーカップを持ち、配管入口を吸い上げ引き抜く際、引く力が強くなり後ろにバランスを崩し、槽の中に右足から落ち、下半身部位がアルカリ脱脂液に浸かり痛めた。	46	11204	50~ 99
4	6~7	飼料バルク車から飼料タンクへ荷卸し作業中、タンクのはしごから下りる際、安全帯を外した後に右手を滑らせ地面へ落下し、頭・背中・腰を強打した。	55	40301	50~ 99
4	10~ 11	室内にて照明器具を外す際、ハンガーケースを踏み台にしたところ、ハンガーケースが破損し落下する。	21	40301	30~ 49
5	13~ 14	加工機の改善を行うために修理予定の遊休加工機の上部に上った。加工機周りの足場設置をせずに機械上部上ったところ、上部が油分で滑り易かった為に足を滑らせて落下（1.8m）してしまった。	52	11502	50~ 99
5	15~ 16	当事業所食品館の精肉バックヤードにおいて、コバエ取りを天井に取り付けようと牛乳用コンテナケースを重ねた上に乗って作業をしていたところ、コンテナが崩れて落下し転倒した。	45	80209	50~ 99
	16~	測定機の石テーブルの上で定期検査作業中、足場台（台形）の安全ロッ			

5	17	クが完全にセットされておらず、足場台の右側が内側に倒れ、バランスを崩し石テーブル上に落下し、右手右尻を強打した。	41	11302	1～9
5	10～ 11	当社デイホール内窓辺前の長机の上に乗し、紙でできた大きな看板のようなものを壁に貼ろうと、長机の上に立ち、手をいっぱい伸ばしながら作業していた際、折りたたみ式の長机の脚が折れてしまい、背面から床に転落してしまった。	34	130201	30～ 49
5	14～ 15	当施設浴室において、利用者の入浴介助の合間を利用し、当日に使用した浴槽を清掃するにあたり、立位の状態から腰を屈め、右手で浴槽内の汚れを拭き取ろうとして、濡れた浴槽の縁に左掌を置いた時、当該掌が滑り浴槽内へ転落し、左肩を強打した。	52	130201	30～ 49
6	12～ 13	荷受場で、高さ150cmの廃棄物回収コンテナに登り、廃棄什器をコンテナ内に入れる作業を行った際、什器（縦50cm×横120cm×高さ20cm、重さ10kg）を縛っていたテープが切れ、自分に当たりそうになり、よけて落下し右足踵を骨折した。	31	80201	300 ～ 499
6	16～ 17	倉庫内仕分けライン内にてピッキング作業中、最上段の製品を手前に引き寄せる為、ラックに足をかけ製品を手にしたところ、身体のバランスを崩し、転倒して尻もちをついた際、左手から着地した。転倒時、左手首にかなりの痛みを感じたが、湿布を貼り、作業を続けた。帰宅後も痛みが引かなかったため、翌日、病院へ行き診察を受けたところ、骨折と診断された。	67	50101	100 ～ 299
6	16～ 17	ベルトコンベア清掃の為、作業台の上で作業をしていたところ、バランスを崩して作業台から落下し、左腕を負傷した。	57	10109	50～ 99
6	9～ 10	工場3階、糞生地乾燥機の生地出口付近にて、乾燥機脇の通路を通行中、足元をよく確認しておらず、天井からの結露水落下対策用のビニールシートの上に乗ってしまい、落下した。落下した際に、左腕を負傷した。	39	10104	300 ～ 499
6	6～7	焼き戻し作業中、製品の冷却に使用する水を水槽に溜める作業をする際、水を出すバルブ切替中に足を踏み外して、左膝を打ってしまった。	40	11509	50～

		通路が狭く、水槽の縁の上に乗って作業していた。			99
6	5~6	工場内で、NC旋盤による加工中に、エアコンダクトの向きを変えようとして、設備の上に上がった。ダクトの向きを変えて設備から下りようとした際に足を滑らせ転落し、左手で支えようと設備の一部を掴んだが、手が滑り、左手人差し指及び中指を切傷した。また、そのまま転倒した為、右肩・右臀部を挫傷した。	52	11502	~ 299
6	14~ 15	店舗バックヤードにある冷凍庫内で、棚（高さ180cm、幅90cm、奥行60cm）の一番上に置いてある冷凍炒飯の箱（重さ約1kg）を取る際に、脚立代わりに酒の一升瓶用ケースを使用したところ、バランスを崩して前のめりになり転倒した。その時、上から2段目の棚板に胸部を強打した。当日は痛みを我慢出来たが、翌日に痛みが増し、肋骨の軟骨を損傷していることが分かった。普段から脚立を使用しているが、今回は一升瓶ケースを代用してしまった。上のものを取る際には脚立使用を徹底し、安全面に十分注意するよう従業員へ周知する。	33	80201	50~ 99
6	16~ 17	安全帯をつけ、サイロの中のセメントの残量を確認するためタラップに登っている時、安全帯のフックを引っ掛けようとしたところ、雨が強くて手が滑り、バランスを崩して転落し負傷した。	34	30201	~ 299
6	22~ 23	構内側喫煙室のエアコンフィルターを取り付ける際、テーブルに乗ったところ、テーブルが倒れ床に落ち、左足首を捻挫した。	21	140201	1~9
7	14~15	弊社、第2倉庫内で、フォークリフトで2段（1m60cm）の重量棚の上へ登り、保管していた未使用の段ボール函を運び出す作業を行っていた時、後ろ向きで荷を引っ張ってリフトに戻ろうとした時に、足を踏み外し、棚上から転落、地面のコンクリートに後頭部を強打した。	42	80109	30~ 49
7	12~13	1階診察室入口のドア上部をイスに乗り清掃中、イスから落ち転倒したその際に、ドア部分に手をぶつけ床に強く手をついた。	59	130101	~ 299
		当該事業場内にて、ダルトンのミキサーに入る澱粉トランジ先のホース			

7	12~13	(ミキサー上部) が外れていたため補修作業を行った後、降りるのを手伝おうとした補助者の手を置き場とし足を置こうとした際、バランスを崩し、転倒したため負傷したものである。	30	10609	30~ 49
7	10~11	構内において、アルミホイル減容(アルミホイルを破碎する)作業中、ベルトコンベアーで、ホッパー内にアルミホイルが投入される際(通常は自動投入)、ベルトコンベアー先端部でアルミホイルが引っ掛かり、自動投入されなかったため、アルミホイルの引っ掛かりを直ちに減容機上に梯子で登ったところ、アルミホイル減容機上に油が垂れていたため、油により足が滑りバランスを崩して転落し、右足を負傷した。	45	11109	10~ 29
7	10~11	構内にて、アルミホイル減容作業中、ベルトコンベアーでホッパー内にアルミホイルが投下される際、通常は自動投下であるが、ベルトコンベアー先端にアルミホイルが引っ掛かったため、直ちに減容機上に昇ったところ、アルミホイル減容機上の油で足が滑り転落し右足を受傷してしまった。	45	170101	300 ~ 499
7	15~16	作業室内において、利用者の方の創作活動の支援中に、突然利用者が前方より小走りに近づき、押されたために、後ろにあった机で背中を強打ち、倒れたところにあった机の脚の部分でも、強打した。	67	10805	10~ 29
7	23~24	出張宿泊先ホテル自室で就寝中に、寝返りをした時に、ベッドから床に転落し、ホテルの備え付け椅子の脚に転落した勢いで右眼を強打ち、右眼眼球を保護・構成する軟骨を損傷した。＜補足内容＞朝起きた時には痛み及び腫れが無かったが帰阪途中から痛み・腫れがひどくなった。	49	11402	500 ~ 999
7	15~16	4階女子休憩室内の浴室脱衣場で、天井の蛍光灯が切れていたため、交換しようと、その近くの脱衣棚に上ろうとしたが、足を滑らせてしまい棚から転落し、その際床に左手をつき、その後、手首が痛みとともに腫れてきた。当日は、左手首に湿布を施し様子をみたが、腫れと痛みが取れなかった。骨折していた。	55	150102	30~ 49
		空調メンテナンス作業時、機械の上から降りようとしたところ(1mくらいの高さ)、作業服(またはズボン)が何かに引っ掛かり、上半身前の			

7	10~11	めりとなり、右足が体についてこなかった。結果、転倒し、右足2ヶ所を骨折した。	54	170209	1~9
7	10~11	客室清掃中、クローゼット上部の棚にある予備の布団を取ろうとしたが、手が届かなかったため、丸いゴミ箱を台にして取ろうとした際にバランスを崩し後方に転倒し尻を強打、腰部を痛めたものである。	76	150101	500~999
7	11~12	現場にてサイロの中に残ったセメントを1トン袋に出す作業中誤ってバランスを崩し、高さ約2.5mから落下し骨折した（ヒビが入った）	70	30106	10~29
7	10~11	現場内において、作業員2人で水槽（H?1.8m）からポンプ吸引ホースを引き上げる作業を行っていた。被災者は水槽の中段（H?0.9m、w?5cm）に足をかけホースを引っ張り、もう一人はそのホースを地面から引っ張る手伝いをしてた。ホースを引く二人の息が合わず被災者はバランスを崩してしまい転落し左足と左手を負傷した。	66	30110	1~9
7	13~14	約40cmの高さがあるリハビリ用プラットフォーム上にて、利用者にリハビリを施術中、別のプログラムに移るために、利用者に姿勢を変えてもらい、自身も姿勢を変えようと、正座の姿勢から右手をプラットフォームの端につこうとしたが、端を通り過ぎて空間に手をつく形となっしまい、バランスを崩し、床に落下した。その際、右手第1指が捻られた状態で床につき、さらにその第1指に自身の上体がのしかかる形となった。	63	130201	30~49
7	17~18	被災者は、共同作業員2名とNo.2ゴミクレーンガータ上（8F）で、安全ネット用のワイヤー張り準備作業を実施していた。夕方、別作業による溶接の火の粉がバケット上（6F）のゴミに引火した。これを消火するため、共同作業員2名は6Fに向かった。その際、被災者は親網へ安全帯をかけて使用していたが、その後の行動は不明である。しばらくして被災者の墜落を確認し、救急車にて病院へ搬送したが、その後、被災者の死亡を警察の連絡より確認した。	63	30302	1~9
		倉庫内にある三段棚の一段目に足を掛けて資材整理（籠筋を棚の二段目			

7	14～ 15	に片付ける作業)をしている最中、バランスを崩して落下した。バランスを崩した際に棚の二段目に載せてあった鋼材を掴んだが、鋼材と共に床に落下し、床に置いてあった塩ビ管と鋼材とに右足を挟まれ骨折した。	60	30199	30～ 49
7	15～ 16	ケアハウス廊下の掲示板の飾りつけをしている際、椅子に乗って取付けていたとき、椅子から転落し、手から落ちて手首を骨折した。	24	130201	100 ～ 299
7	12～ 13	車の積み降ろし作業中、トラックの道板から誤って落ち、右足甲の小指の付け根を骨折した。	48	40301	10～ 29
7	16～ 17	トイレの縁に立ち、トイレの上にある棚に置いてあるトイレットペーパーを整理・補充していたときに、左足を滑らせ、左側に転倒し、左足首を負傷した。	44	140201	10～ 29
9	16～ 17	支店敷地内にて発生。事務所から倉庫へ書類入りダンボールを運んでる途中、電話コードにつまづき転倒し、左大腿骨転子部を骨折。	56	80109	30～ 49
9	13～ 14	支店3Fの展示会設営会場で高所にディスプレイ中、什器の一番上に電飾を引っ掛ける為、パイプ椅子の上に乗って作業をしていたら、後方にバランスを崩し転落、両腕と頭を床にぶつけ、左腕はぐらぐらしていた。	44	80209	50～ 99
9	1～2	病棟の休憩室で、仮眠をし、トイレへ行こうと電気をつけたら、台所に蠅がいたので、椅子に登って取り、下りようとしたところ、滑って転倒した。その際、右腕、腰、くるぶしを打った。腫れがあり、冷やして様子をみて勤務終了後に受診した。	46	130101	1000 ～ 9999
9	10～ 11	サイロ下部ホッパー内を2名で上部（指揮者）と下部（被災者）に分かれ、清掃作業を行っていた。被災者はサイロ下部ホッパー内で、燻蒸用配管を背に両足をホッパー内壁に置き、バランスを保ちながら付着している飼料のかき出し清掃作業を行っていた。作業指揮者は被災者上部のカバーの上に足場板を掛け同様の清掃作業を行っていた。飼料崩落があり、被災者は何らかの原因でホッパー下部へ落下した。指揮者が下に降りて確認した所、被災者はすり鉢状のホッパー下部に下半身が滑落して	24	80401	10～ 29

		いた、そのためホッパー下部を塞ぐ形となり、飼料が下に流れない状態となっていた為、飼料が積もり埋もれた。			
9	7~8	溶剤を搬送し、同第二プラント内設置の円錐型貯蔵タンク上部口に車輛からホースを用いて注入納品し、終了時にタンク上部に立ち上りホースを外す際に、足を滑らせてバランスを崩し、3.5mほど下の地面（砂土）に転落したものである。	66	40301	30~ 49
9	16~ 17	開発中の大型プリンタの寸法を測定するため、定盤（測定装置を設置した台）に、靴を脱いで上がり段取りを開始した。定盤上で作業中、滑ってバランスを崩し、左側斜め後方に左肩から転落した。	45	11305	1000 ~ 9999
10	12~ 13	事務所内の警報器のスイッチを止めようとし、イスに乗った時、バランスを崩して転倒した。その際、右手をついて負傷した。	49	30199	30~ 49
10	9~ 10	浄化センター内、水処理棟2系第2生物反応室で、蝶バエの発生原因となるスガム除去作業のための空気弁操作中に、床下の配管炉内（高所）作業環境で、墜落防止の為の必要な措置を取らず、適正な保護具、昇降器具を使用せず作業し墜落（足の位置より約1.0mの高さ）した。	61	30302	10~ 29
10	8~9	当社の取引先内で、運搬車両に製品を積み込む作業に従事し、アルミデッキ（積荷誘導台）に乗って製品誘導していたところ、足元確認を怠ったため、アルミデッキから落下し、顔面右側と左肘をコンクリート地面に打ちつけた。	37	40301	30~ 49
10	17~ 18	宴会準備中、ステージに継ぎ足してあるダックステーブルに乗ってしまい、バランスを崩しテーブルごと転倒、首・右腕を打撲した。	38	170101	100 ~ 299
10	9~ 10	車両積載車のドライバーとして就労している被災労働者が、事業場敷地内にある積載車駐車スペースにて、当該車両の上段に積載した車両に書類を置き忘れたことに気づき、当該箇所へ登ろうとしたところバランスを崩し、足から路上へ落下。左足首上部を骨折した。本来駐車スペースは作業をする場所ではないが作業効率アップのためにと当該者の判断に	61	80202	30~ 49

		より、当場所にて作業を行うことが日常的となっていて車両積載の当作業は当社は1人で行うものとしている。当時の天候は小雨であった。落下した、車両上段部は地面から1.7m程の高さである。			
10	1～2	2段ベットの上段で、仮眠中、寝返りをしたところ、ベットの落下防止柵が無い側から（ベット190cm壁70cm）、頭から落下した。	67	80109	100 ～ 299
10	8～9	エスカレータ内側デッキカバーを清掃中、雑巾が手すりに引っ掛かりバランスを崩して、背中から一回転し転倒。その際頸、肩、腰、頭を強打し後頭部より出血した。	65	140302	50～ 99
10	17～ 18	被災者は派遣先において、仕分け業務に従事していた。現場担当者の指示により、商品棚のボルト締め作業中、足場に使っていたパレット（商品棚にのせて足場に使っていた）が、ズレてしまったため、不安定になった足場でバランスを崩し、転落（1.5m）して負傷した。原因は、現場担当者と被災者の危険予知が不十分だったことによる。	28	170101	30～ 49
10	11～ 12	工事現場において、タンクをつる作業をしようと高さ1.6mCタンクから隣のタンクに移動したところ、足を滑らせて落下し、右腕と右腰を負傷したものである。	46	30199	1～9
10	1～2	冷凍自動倉庫内でラック上の商品の位置を手直しし、足場を移動しようとした際、足を滑らせ約50cmの高さから落下し、左下腿前面を架台にぶつけ挫創した。	25	80401	50～ 99
10	16～ 17	ブロックマシーン使用後の清掃中、砂ホッパー内を掃除しようとしホッパーとホッパー格納庫の隙間（幅20cm×長さ2m×高さ2m10cm）に落ちた。	54	10901	10～ 29
10	10～ 11	病棟空調機械室内に設置してある空調機上（床より約2.4mの高さ）にて降雨による雨降水の処理作業をしている時に足場が悪く体勢を崩し転落した。	62	130101	500 ～ 999
	21～	当施設会議室内に於いて、施設で催す秋祭りの準備作業を行い、作業が			100

10	22	終了し模造紙を棚の上に戻そうと椅子に乗ったところ、バランスを崩して椅子から落ち、その際、床に臀部を打ち負傷した。	43	130101	～ 299
10	9～ 10	倉庫内にて棚にある海苔を入れるカゴを取ろうと、脚立を使用した。片足を脚立にのせ、もう片方を海苔のカゴが置いてある棚に載せ、取ろうとした所棚板が跳ねあがり乗せていた足も跳ねてしまい、そのまま後方に倒れてしまい、背中を強打した。	58	70209	1～9
10	15～ 16	支社長室にて足載せソファに乗って壁に張り紙をしようとした際にバランスを崩して転倒し、受傷。	57	90103	30～ 49
11	14～ 15	自社の作業内で4tトラックの荷物を降ろしの時に、荷台から降りる際に、右足をあおりに乗せ、左足を工場内の常搬にかけて荷台から下りる時に、左足が常搬から滑り左側の手とお尻を床に落ち強打した。	60	11209	1～9
11	9～ 10	居室にて椅子に上がって天井の電気カバーを清掃中、バランスを崩し転倒した際に左手を強打した。	58	130101	1～9
11	14～ 15	置場内にて、コンテナ内のフレコン整理中、作業が一段落したため、コンテナ内から下りる際に、2m程の高さから足を踏み外し落下した。その際、コンテナに立て掛けてあった足場材にぶつかり陰部を強打した。	19	30209	10～ 29
11	16～ 17	倉庫2階U字型コンベヤ奥に商品が停滞しており、商品を送り出す為にコンベヤ縁に左足をかけて跨いだ。その際、内側のケーブルボックス上に右足で着地し、内側に捻り転倒した。	50	150102	300 ～ 499
11	11～ 12	校舎3階の算数少人数の教室で、教室後方の掲示板に反比例のグラフ（約縦80cm、横60cm）を、児童用ロッカーに乗って張ったが、降りる際に、踏み台にしていた児童用机から足を踏み外し、ロッカーから約1m下に転落した。床に右手をついて落下した際に右手首を骨折した。	60	120109	10～ 29
11	9～ 10	製造現場において、昇降梯子を設けていないボックスカルバート1000×700の型枠の組立作業で、型枠にのぼる時に、普段は気付いているはずの型枠保管用固定金具の突起部に長靴が引っ掛かり、体勢を崩し型枠から落下した。落下する際に、隣の型枠に背中を強打し肋骨を骨折	46	10901	50～ 99

		した。			
11	7~8	一泊二日の予定で商品プレゼンの為、出張中宿泊先ホテルにて朝起床時、そのベッドが通常より高く、寝ぼけて足を踏み外し転倒し、脇にあったテーブルの角で腰を殴打し骨折となる。	55	80109	1~9
11	20~21	包装設備の洗浄業務にて、ラインの消毒の為に次亜塩素酸Naが入った噴霧器にて噴霧作業を行っていた。噴霧場所は計量機のホッパー箇所であり、位置的に高所にある為、高さ約60cmの足場が設置されている。その足場に噴霧器を置き噴霧していたところ、噴霧器が足場から落下しそうになり慌てて落下を阻止しようとした。その際、自身がバランスを崩して右向きで地面に落下した。	53	10109	10~29
11	17~18	地下ポンプ室内に保管していた浄化槽点検用の機材（約10kg）を運ぶため片手で持ち上げた際、重みで体勢を崩したため、反対の手ですぐ側にある水槽室入口のドアに手をかけたところ、ドアが開きそのまま水槽（縦・横約2m、深さ約2m、水深約1m）に落ちたものである。水槽に落ちる際、水槽の縁で上半身を打ち負傷したものである。	47	10805	10~29
11	15~16	工場内作業場の出荷場所にあるローラーレール上で、搬入・仕分け・引き込み作業を行い、片付けが終わり、事務所に戻る際、ローラーレールより足を滑らせ転落した。（70cm程）腰・背中・肘を打ち、捻挫をした。ローラーレールとは、2Fの荷物置場からリフトで1Fに降ろし、トラックヤードまで運搬するコンベアの様なものである。	41	40301	50~99
11	1~2	農場で5tタンクへ上がる時、地上より2m位の所でカズラが足に掛かり階段より足を踏み外し落下、手と顔を強打し負傷した。（手首骨折、顔負傷）	66	40301	50~99
12	12~13	サービスセンター移転に伴う業務応援のため、当社サービスセンターで庫内整理作業をしていた際、既存のスチールラックを建物内移設の為に一部を解体し運搬した。その後、所定の場所にて、組立作業を行っていたとき、ラック2段目の軸組鉄骨に20mm厚の合板を敷き詰めている際に足を滑らせ、敷設途中の合板に足を着くも、固定されておらず、踏み抜き	39	80203	10~29

		転倒した。転倒の際に鉄骨軸に右胸部を強打し、付近にあった敷設済み合板上に倒れ込み、蹲り動けない状態の為、救急車を呼び病院へ搬送された。			
12	13~14	支店内において、ロッカー（高さ180cm）の上に設置されているエアコンの大掃除をするため、事務用回転椅子に乗り、立ちあがって作業をしていた。掃除終了後、降りようとしたところ立ったままの状態が回転し、そのまま椅子左側に落下し、左上腕骨頸部を骨折した。	60	170209	1~9
12	11~12	展示場に出張業務中、男子トイレで換気扇の掃除をするため便座に乗り作業をしていた時に、バランスを崩し、後ろに転倒して右腕で体を支えようとしたところ、右肘を骨折した。	54	90209	10~29
12	16~17	機械浴室内で、洗濯のため外されていた間仕切り用のカーテンを再度カーテンレール（高さ2m5cm）に掛けるため、座面が回転する丸イス（高さ42cm）に乗って一人で作業を行っていたところ、バランスを崩し丸イスからコンクリート製の床に転落し、左手首を骨折した。	64	130201	100~299
12	10~11	机の上に乗って窓の掃除中に、足場が狭かったため机の上から足を踏み外し、後ろ向きで床に落ち、踵を骨折した。	47	10701	50~99
12	9~10	工場内にて年末の大掃除作業中、誤って84cmの踏み台から落下し、左手で支えたところ、左手首にひびが入った。	63	10102	30~49
12	14~15	作業場に防災用カーテンを取り付けるため、鉄骨製の材料棚（高さ3m、幅1.5m、奥行3m）の最上段まで上がった。プラスチックカーテンレール（長さ4m、重さ1kg）を他の者に渡して、棚を降りようとしたところ、棚に材料が置かれていたため、左足を置くスペースを確保できず、約2mの高さから転落して左足の甲を骨折した。	43	11209	30~49
12	7~8	シャワーノズル清掃中、集塵機の梯子から下りる際に手足が滑り、高さ40cmのブロック壁の上に落下した。	45	150102	10~29
12	9~10	オフィス内で大掃除の際、書類が多く積まれた棚板の上に立ち、踏み台代わりにして窓の上方を拭いていたところ、重さに耐えられなくなった	32	170209	30~49

		棚板が突然外れ、1m程の高さから転落し、右足踵部を強打した。			
12	13~14	旧館2階の倉庫で商品片付け中に、高い商品棚から低い商品棚に移動するとき、低い商品棚の上部にある柵につかまるのに失敗し（90cm位離れた所にある）、転落した。その際、低い柵に立て掛けてあった梯子に自分の胸の左側を激しく打ちつけて、転落した。	70	80109	10~ 29
12	10~11	事務室において、年末清掃で書籍棚の天板に上がって窓拭きを行ったあと、足場になっていた椅子に下りようとしたところ、バランスを崩して約1m下に転落し、右手首付近を強打した。骨折の恐れがあるため救急車で病院へ搬送され、診断の結果、右手首を骨折しており、手術を行った。	63	120109	1~9
12	19~20	警備室で年末大そうじ中に、室内のカップボードの棚を掃除するため、手が届かなかったのでキャスター付き椅子の上に立って掃除をしていた。その際、椅子が移動してバランスを崩し、椅子から転落して座骨を強打し、左座骨を骨折した。	74	170201	50~ 99
12	10~11	本社ビル2階経理部の部屋内を大掃除中、書棚上部を清掃するため椅子の上で作業中に、バランスを崩して足を滑らせ、左側面から床に落ちて強打し、左手首を粉碎骨折した。	57	140309	100 ~ 299
12	14~15	仕分作業中、ラック上段の縁を左手で掴み、補助ステップに左足を乗せたときに足首を捻り、落下して転倒した。最上段の製品を抜き取ろうとして片手・片足の状態になり、自重の負荷により左足関節の内反が強制されて転倒したため、自立困難な負傷状態（左足関節捻挫）となった。	22	40302	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html